



とっとり・グローバルウオッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

鳥取県江原道経済交流団を派遣しました 江原道との新たな経済交流のスタート

韓国江原道には、この10年来その地域特性と国策により形成された多くの有望な産業が発展している。それは2003年、「産学研官」の連携による地域革新拠点としてベンチャー企業育成を目的に設立された江原テクノパークの3拠点を核としたところの「春川(バイオ、IT)」、「原州(電子、医療機器)」、「江陵(新素材セラミック、海洋バイオ)」である。

韓国の企業が江原道に進出した理由は、安価な土地代や江原テクノパークの研究施設、貸工場利用というメリットがあることで、主に首都圏から移転されてきているが、注目すべきひとつの特徴は韓国の大手企業から独立し、規模は小さいが優秀で若い企業が多いことだ。そしてこれらの企業は体力的に似かよった鳥取県内企業とのビジネスマッチングの条件を備えていると思われる。

このような背景のもと、昨年春から、当機構と江原テクノパークとの交流が始まった。昨年6月末に就航したDBS航路は両

国企業間においてまさに渡りに船で、機は熟したのだ。

今年6月下旬には県内企業（電気機械6社・団体、食品2社）等からなる初の経済団を派遣した。江原テクノパーク、江原道庁等の皆様の周到な準備のお陰で早速に電子、食品関係の具体的な商談が始まり、DBSの大きな積荷となることも期待しているところである。

この幸先の良いスタートを足掛かりに今後江原道からの経済団の受入や第2回目の経済団の派遣等を計画しており、ぜひ関係の皆様方にも積極的にご参加いただきたいと考えている。

なお、このたびの訪韓では当機構と江原テクノパークとの協力体制を確立させるため「先端産業分野のビジネス交流、先端産業情報の交換、共同セミナー開催及び職員交流について協力」という趣旨の協定書に調印した。

目次

鳥取県江原道経済交流団を派遣しました	P 1
FOOD TAIPEI 2010に出展しました	P 2
最新の上海～現地レポート～	P 3
現地発！台湾月刊レポート	P 4 P 5
お知らせ	P 6



地 図：江原道（鳥取県庁ホームページより）
 写真上：6/29金型メーカーを訪問（原州市）
 写真下：6/29江原テクノパーク本部で協定書に調印（春川市）

世界の祝日 8月

- 韓国 15日 解放記念日
- シンガポール 9日 独立記念日
- タイ 12日 王妃誕生日
- 13日 特別休日

出所：ジェトロ通商弘報「世界の祝祭日2010年版」から

FOOD TAIPEI 2010に出展しました

鳥取県内企業5社がチャレンジ

6月23日(水)～26日(土)、台湾・台北市にて開催された国際食品見本市「FOOD TAIPEI 2010」に県内企業5社が出展、台湾食品市場へチャレンジした。5回目の出展となった今回、会期中に159件の商談が行われ、そのうち7件は成約見込となるなど、成果を挙げている。

出展企業からは、「現地代理店にもアテンドして頂いたおかげで商談がスムーズに進み、新規販売チャネル開拓の可能性が出てきた。」「価格面で折り合いがつけば、大変おもしろいビジネスができそう。」「食習慣や味覚の違いがあるなど、情報収集がたくさんできて良かった。」など前向きな声が多く聞かれた。

当機構では今後もジェットロ鳥取や当機構の台湾コーディネーターと連携しながら、引き続き成約に向けたフォローアップを実施する。

■FOOD TAIPEI 2010概要

会期 2010年6月23日(水)～26日(土)
 会場 台北ワールド・トレード・センター
 主催者 中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)
 出展者数 FOOD TAIPEI 全体：959社/1,822小間
 日本パビリオン全体：33企業・団体
 (孫出展を含めると全69企業・団体) /
 63小間(広報・商談ブース9小間含む)
 来場者数 61,319人(速報値)

■商談件数

159件(うち、成約見込7件)

■出展の成果

- ・当財団台湾コーディネーター(株スナーク)の協力のもと、有望バイヤーへの事前訪問等が功を奏し、会期中に各企業とも内容の濃い商談をすることができた。
- ・新規出展企業は今回の出展を通じて、台湾市場での自社商品の販売可能性を探り、信頼できるパートナーを見つけて物流ルート構築を図るなど、台湾市場展開のきっかけを作ることができた。

■当財団出展ブース概要

- *事業実施主体は、財団法人鳥取県産業振興機構。
- *ジェットロが運営する日本パビリオンに出展。

■会場の様子



企業名	主な出展商品
(有)一善や(鳥取市)	菓子(ロールケーキ、パウンドケーキ ほか)
(株)エミネット(米子市)	フィッシュコラーゲン「天使のララ」
(株)かにじまん(境港市)	かにパウダー加工品(七味、ソフトクリーム)、舞茸チップス ほか
(株)ゼンヤクノー(鳥取市)	健康茶(黒豆茶、はと麦茶 ほか)
(有)長田茶店(米子市)	「有機栽培大山みどり」、「有機栽培大山の紅茶」

最新上海 ～現地レポート～ 28

食品に関する輸入の現状

上海では万博が開幕してから、さらに人とモノの流動が激しくなっている。万博関係貨物のほか、万博という商機を狙って海外から多くの商品が輸入されており、鳥取から上海に商品を輸出している企業の方々が懸念するのは貿易・物流の状況だろう。そこで、上海での通関手続きなどの現状について、ヤマト国際物流有限公司の神谷氏にお話を伺ってきた。

■上海での輸入手続きの概要

通関検査（動植物検疫、商品検査、衛生検査）
↓
税関申告
↓
関税・増値税納付
↓
許可
↓
中国国内物流

■万博の影響で物流量が増加しているが、輸入状況にどのような変化があるか？

神谷氏：

基本的に通関検査にかかる期間が長くなっている。たとえば、通関検査後、衛生証書の申請に対して、以前は2週間程度で発行されていたが、現在は3週間強かかっている。食品の場合、消費期限や賞味期限があるため、通関手続きの長期化は、商品価値を損失させ、販売機会の損失につながる。また、その間の倉庫費用もかかるため輸入コストも増加する。

■口蹄疫問題で日本から中国に対して、牛や豚などの偶蹄類及びその製品の輸入が禁止されたが、乳製品の輸入はどのような状況か？

神谷氏：

豚肉などの畜産品、牛乳、チーズなどの原材料そのものあるいは大部分の偶蹄類関連の商品については、完全に禁止されている。一方、原材料の一部に乳製品が使用されている商品に関しては、一概に禁止されているわけではない。

■なぜ、商品によっては乳製品が使用されていても輸入が許可されることがあるのか？

神谷氏：

通関業務を代行する貿易会社の実績や中国語ラベル作成の際のテクニックによって、商品によって許可されるものと不許可になるものがある。明らかに禁止項目に当てはまるものを除き、当社では、スムーズに検査が進み許可されるよう、検査機関である商検局とコミュニケーションを図っている。万一、現場検査にて輸入不許可と判断された場合は、没収・廃棄処分となるのだが、展示

会や物産展に出展する際に商品が陳列できないとなると、その企業の痛手は非常に大きい。このような不許可になった場合でも、当社は当局と「販売は無理でも展示品として許可してもらえないか」、「一部でも試食用に利用できないか」などと交渉をして、顧客企業のためにできる限りの対応をしている。

■日本から中国への輸出に関する注意点

神谷氏：

昨年6月の食品安全法施行に伴い、衛生強化を目的として中国での税関検査項目が拡大し、通関検査が厳しくなっている。上記の通り、通関手続きにかかる期間が長期化しているため、物産展や展示会への出品に際しては、早めの手続きが必要である。そして、このような通関リスクの増大により、昨年に比べ今年は物流費用が高騰する傾向にある。

また、万博の影響で検閲検査が強化されている。大量のチラシやパンフレットなどは商品と一緒に送付せず、別途違う手段で送付またはハンドキャリーすることを推奨する。

万博開幕直前に通関検査基準が厳しくなり、開幕以後も引き続いている。万博終了後、通関検査基準が緩和されるかどうかは現在のところ不明であるが、食品安全法施行以後、食品に対する規制が厳しくなっていることには変わらない。今までに中国での販売実績がない商品に関しては貿易会社と事前に綿密な確認をしておく必要があるだろう。



～今回お話を伺った方～

雅瑪多国際物流有限公司
副総経理兼生活支援部門担当
神谷 翼 氏

《ヤマト国際物流有限公司概要》

会社名：雅瑪多国際物流有限公司

上海支社：上海市長寧区仙霞322号

(Tel：86-21-5169-1533)

マーケティングギャラリー：上海市長寧区榮華西道19-10

万科広場内 (Tel：86-21-6295-2848)

業務内容：

2005年4月に設立。運輸、物流、フォワーディング、倉庫業。そのほか、輸出入手続きから販売までをトータルコーディネートする同社は、日本の食品や日用品を展示販売するヤマトマーケティングギャラリーを運営し特売会、物産展、テスト販売などを開催している。上海市内での宅急便事業を開始今年1月から開始し、上海でも時間指定宅配や低温輸送サービス提供している。

【(株)チャイナワーク 孫】

現地発！台湾月刊レポート 37

経済協力枠組み協定(ECFA)の影響

中国と台湾は6月29日に自由貿易協定(FTA)に相当する「経済協力枠組み協定(ECFA)」に調印した。この影響は、経済のみではなく政治、台湾人の意識、日本にも影響をあたえる。

台湾と中国は6月29日に自由貿易協定(FTA)に相当する「経済協力枠組み協定(ECFA)」に調印した。締結により台湾側が267品目、中国側が539品目の関税を暫時引き下げられる。ECFAの内容は台湾側に有利な内容となっている。品目は2倍、金額ベースでは4倍といわれている。ちなみにECFAは「エクファ」と呼ぶ。また台湾は、バイオテクノロジー、グリーンエネルギー、観光、医療、ハイエンドの農業、文化芸術の分野に力を入れることを目指しており、これらのセクターの規模は2012年までに3兆億台湾ドル(10兆日本円)になると見込んでいる。これらは「六大新興産業」と呼ばれ、台湾政府が積極的に投資する産業を示したものである。7月6日には、日本からECFAと文化芸術分野を視野に入れ、馬総統に対し日本電子書籍出版協会が電子出版を協力するための訪問、会合を行った。既に日本の業界も動き始めている。



6/1~5に台北で開催されたCOMPUTEX 2010：中国大陸からのバイヤーが殺到し、来場者は昨年比2倍だったという。

■ 反対派 VS 賛成派

さて、ECFAについては、検索していただければ様々なニュース、解説がなされている。よって本稿では簡単に触れたい。まず台湾では何が問題なのか。

- (1) 世界的にはFTAがあるにもかかわらず、ECFAという名前で中国と協定を結ぶことは、台湾の独立を自己否定するものだ。
- (2) 自由貿易協定は、台湾の産業を弱らせる。これは国内保護主義的な動きでもある。
- (3) 経済の一体化は、台湾の位置を中国の一部とする動きになる。経済的な統一は、政治的統一を生む。

実際、この反対運動には台湾独立派やECFA反対の10万

人(警察は3万人と発表)がデモに参加した。李登輝元総統や野党第一党、民進党の蔡英文主席らが参加した。李登輝氏は「ECFAは台湾の利益に背き、馬英九政権の誤った政策であり、徹底的に反対だ」と馬政権を厳しく批判した。一方、賛成派の考え方は、

- (1) 台湾と中国の統一は、悪いことではない。
- (2) 経済の活性化で現在の国民党政権を維持したい。
- (3) GNPを1.7%押し上げ、国民生活が豊かになる。
- (4) ECFAを結ぶことで、まだFTAを結んでいない東南アジア各国との貿易促進にむすびつく。さらなる経済活動の発展がある。

大多数の台湾人は、現行を維持したいと思っている。頭の中では、独立したいと思っている。しかし現実を見れば、大陸との経済活動を無視して生活できない状況になっている。今後このさじ加減を難しくさせるのがECFAである。中国としての思惑は、親中の台湾国民党を維持したい。民進党には、絶対に政権をとらせたくない。また2013年には、中国共産党胡錦濤政権が終了し、兩岸を安定的な状態で政権移譲したいと言う考えもある。

■ 台湾サラリーマンが考えるECFA

話を換え、104人力銀行という大手人材サイトでサラリーマンのECFA影響意識調査があったので紹介したい。約50%のサラリーマンが、台湾にとってECFAは衝撃ありと考えている。31.9%が部分的産業にダメージがあり失業の危機にさらされる。15.8%に至っては、台湾で仕事を探するのがむずかしくなるのでは、と考えている。一方楽観主義者は40%。確かに部分的ダメージはあると思われるが、新たな構造変化による雇用機会が生まれると期待している。大陸と台湾の行き気が激しくなるにつれ中国大陸に駐在する人も増えている。104人力銀行を通じて採用された幹部は、四分の一が大陸での駐在を経験しているという驚きの数字。給与も台湾に残るより手当をのぞいて1.5倍程度になるケースが多い。中国大陸が今後発展するに当たり、注目される人材は、行销(営業)、通路、連鎖(チェーンストア)、量販等を経験した人であるという。

■ 日本経済への影響

では、日本に対するインパクトは、どうであろうか。考えられるのは、

- (1) 関税面の優位があるため、中国市場において台湾に日本の産業がとられてしまう。ちなみに韓国のほうがその意識が強いようである。
- (2) 台湾と日本は技術面など強いつながりがあるので台湾企業と手を携え、さらに中国への進出が進む。
- (3) 地政学的にみて、大陸と台湾のつながりが強くなるため、日本の影響力低下が避けられない。また将来的に脅威となる可能性もある。
- (4) 電子産業系には、吉報。白物家電や農業などにとっては良くないと考えられる。

<次頁へ続く>

- (5) サービス業にとっては、チャンスかもしれない。
 (6) 中国大陸、台湾、日本に会社を持つと優位性が生まれてくる。

など、さまざまな意見が出ている混沌としている中だからこそ、商機もでてくるであろう。たとえば、日本では日通のペリカン便と郵政のゆうパック統合に伴い、日本からペリカンブランドが消え去った。また統合にともない、集荷、配送の遅配が大きな問題となっている。一方、台湾にある台湾宅配通(台湾ペリカン便)は、増収増益を続け、ブランドが生き続けている。さらに先日の株主総会で、中国大陸に対し台湾テレビショッピング大手の富邦グループMOMO台とともに、台湾ペリカン便を大陸でも事業を開始することとする決定を行った。サービス面でも中華圏に合ったニーズを組み、新規勃興発展していく可能性もある。そう、あのSOGOのように。

ECFAは、ありとあらゆる部分の産業構造の変化を生む可能性がある。一方、日本との関係は、とくに政治とのかかわりを、日本の安全、発展のためにも注視せねばならない。



6/24～27に台北で開催されたSenCare2010(シニアケア展覧会)：「六大新興産業」にも含まれ、弊社もシニア向けの道具を出展した。もちろん大陸市場を視界に入れている。

【株式会社 スナーク 富田】

海外チャレンジ補助金のご案内

お早めにご相談ください

財団法人鳥取県産業振興機構では、県内企業の海外見本市出展、サンプル輸入事業などの海外展開活動を支援するため「とっとり県内企業海外チャレンジ支援事業補助金」を設け、以下のとおり平成22年度の補助対象事業の募集をしております。

<ご注意>審査手続の関係上、事業実施2カ月前を目安にお申し込みください。補助対象経費は、交付決定通知後の支払であり、交付決定通知前の支払済の経費は補助対象外となりますので、ご注意ください。

- **名称**：平成22年度とっとり県内企業海外チャレンジ支援事業補助金
- **目的**：県内企業が行う海外展開活動に対し、その経費の一部を助成することで、海外との経済交流の活性化に貢献する。
- **補助対象者**：県内の中小企業または中小企業等で構成する県内の事業組合等若しくは任意のグループ(2社以上)であり、海外との経済交流に積極的に取り組む者。
 上記に加え、境港貿易振興会、鳥取港振興会の会員あるいは財団法人鳥取県産業振興機構の賛助会員のいずれかである者。
- **対象事業**：①海外見本市・商談会・物産展出展事業
 ②県内港湾を活用したサンプル輸入事業
 ③商品の通関に伴う各種検査及び証明書等認証関係書類作成事業
 ④輸出入を目的とした海外市場調査事業
 *ただし、補助対象経費の総額が20万円以上の事業とする。
- **補助金額**：補助対象経費の1/2以内(上限100万円)
- **募集期間**：随時。ただし、補助金予算額(計700万円)が満額になり次第締切ます。
- **注意事項**：対象者、対象事業、対象経費、利用回数、審査基準等の詳細につきましては、別途条件を設けておりますので、事務局までお問合せください。
- **問合せ先**：財団法人鳥取県産業振興機構 海外支援グループ(担当：亀谷)
 〒689-1112 鳥取市若葉台南7-5-1
 電話 0857-52-6703/FAX 0857-52-6782



【(財)鳥取県産業振興機構海外支援グループ 亀谷】

お知らせ

2010 中国水博覧会のご案内

ジェットロは同展示会にジャパンブースを設置し、巨大な中国水市場においてわが国企業がビジネスチャンスをつかむお手伝いをします。

- ★会期：2010年11月17日～19日
- ★会場：国際会議中心（北京市）
- ★主催：中国水利学会 ほか
- ★ジャパンブース：
 - ・募集小間数：8小間
 - ・出品対象：工場用水および排水処理、汚水処理、飲料水の確保、農業用灌漑、洪水・干ばつ対策等に関する技術・製品・サービス
 - ・中小企業出展料：150,000円/小間
- ★申込締切：2010年8月6日
- ★問合せ、申込先：
 - ジェットロ環境・エネルギー技術課
 - TEL：03-3582-4877
 - FAX：03-3582-7508

Pollutec 2010のご案内

Pollutecはフランスで開催される欧州最大級の環境・エネルギー関連国際見本市で、世界各地から2,400社の出展、75,000人の来場が見込まれています。

- ★会期：2010年11月30日～12月3日
- ★会場：Lyon EUREXPO（リヨン）
- ★主催：Reed Expositions France
- ★出品対象：環境・省エネ・再生可能エネルギーに関わる製品・サービス・技術等
- ★ジャパンブース：
 - ・募集小間数：9小間
 - ・中小企業出展料：300,000円/小間
- ★申込締切：2010年9月10日
- ★問合せ、申込先：
 - ジェットロ環境・エネルギー技術課
 - TEL：03-3582-4877
 - FAX：03-3582-7508

マレーシア環境・エネルギー総合展 IGEM 2010のご案内

ジェットロはIGEM2010にブースを出展、日本の優れた環境・エネルギー技術を紹介することで、ビジネスチャンス創出のお手伝いをします。

- ★会期：2010年10月14日～17日
- ★会場：KL Convention Centre（クアラルンプール）
- ★出品対象：環境・省エネ・再生可能エネルギー・エコプロダクツに関わる製品・技術・サービス等
- ★ジャパンブース：
 - ・募集小間数：10小間
 - ・中小企業出展料：180,000円/小間
- ★申込締切：2010年7月30日
- ★問合せ、申込先：
 - ジェットロ環境・エネルギー技術課
 - TEL：03-3582-4877
 - FAX：03-3582-7508

編集後記

本誌でもご紹介した鳥取県江原道経済交流団派遣支援のため、私はこのたび初めて韓国江原道を訪れました。江原道は鳥取と似ていて自然豊かで、山が多いのが特徴的でした。現地の方に聞いたところによると、江原道の山々は“コリアン・アルプス”と呼ばれているとのこと。

江原道の道庁所在地である春川市は、あの韓国ドラマ「冬のソナタ」のロケ地として知られており、街中にドラマの看板が立ち並んでいました。きっと多くの日本人観光客が春川市を訪れ、ロケ地巡りをするのでしょう。

現在、日本でも放映されている韓国ドラマ「アイリス」続編のロケ地として、日本国内から鳥取県が選ばれたことは皆様も記憶に新しいと思います。今年の夏から秋にかけて、鳥取砂丘や東郷温泉などで撮影が予定されているようです。これを機に、日本国内はもとより韓国からもたくさんの観光客が鳥取県を訪れることが期待されます。その方々に、「また鳥取へ来たい！」と思っただけのような魅力ある鳥取県を作りたいものです。【zao】

本誌『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでメールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構 企業支援部
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp
TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782



とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

- （財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ
TEL 0857-52-6703
- ジェットロ鳥取貿易情報センター
TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

- （株）さかいみなと貿易センター
TEL 0859-47-3900
- 境港貿易振興会
TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

- 境港管理組合港湾管理委員会事務局
TEL 0859-42-3705
- ジェットロ貿易相談デスク
TEL 0859-45-2203